

滞在報告

分子集合解析研究領域 チョンミンアン

令和7年度若手研究者国際短期派遣事業の支援を受け、約三か月間、アメリカ・カリフォルニア州にあるカリフォルニア大学サンタバーバラ校（University of California, Santa Barbara, UCSB）の Nguyen Thuc Quyen 教授の研究室に滞在しました。サンタバーバラはロサンゼルスから北西約 150 キロに位置する海沿いの美しい街で、一年を通じて温暖な気候に恵まれています。大学は太平洋を望むキャンパスにあり、研究環境・生活環境ともに非常に充実した場所でした。

Nguyen 教授の研究室は、UCSB 内の Center for Polymers and Organic Solids（CPOS）に所属しています。この研究センターは 1982 年に Alan J. Heeger 教授（2000 年ノーベル化学賞）と Fred Wudl 教授によって設立されました。CPOS では、有機半導体や高分子デバイス、エネルギー変換材料に関する最先端の研究が世界中の研究者によって活発に行われています。滞在中は、国際色豊かな学生・研究者と日々議論を重ねながら研究を進めることができ、大いに刺激を受けました。

研究以外では、研究室メンバーと週末にハイキングや BBQ を行う機会もあり、アメリカの自然と文化に触れながら仲良くすることができました。Nguyen 先生は常に親切で、学生たちも非常にフレンドリーに私と話してくれたため、毎日楽しく過ごすことができました。三か月という短い期間ではありましたが、研究面のみならず人間的にも多くを学ぶことができ、非常に充実した滞在となりました。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった京都大学化学研究所ならびにカリフォルニア大学サンタバーバラ校関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



サンタバーバラダウンタウンの風景



UCSBの正門



UCSBの化学科（Nguyen研究室は三階）



研究室メンバーとのハイキング



Nguyen教授による自撮り集合写真